

# 情報パーク やまなし

## No.13 - 1

発行者：山梨県地域情報化推進協議会  
 (山梨県企画部情報政策課内)  
 Tel .055 223 1418 Fax .055 223 1421  
 URL : http://www.fynet.or.jp

### 特集：電子自治体の実現に向けて

- ①電子自治体への取り組みと e-Yamanashi 64ネットについて
- ②講演会「IT と電子自治体」の開催

#### ① 電子自治体への取り組みと e-Yamanashi 64ネットについて

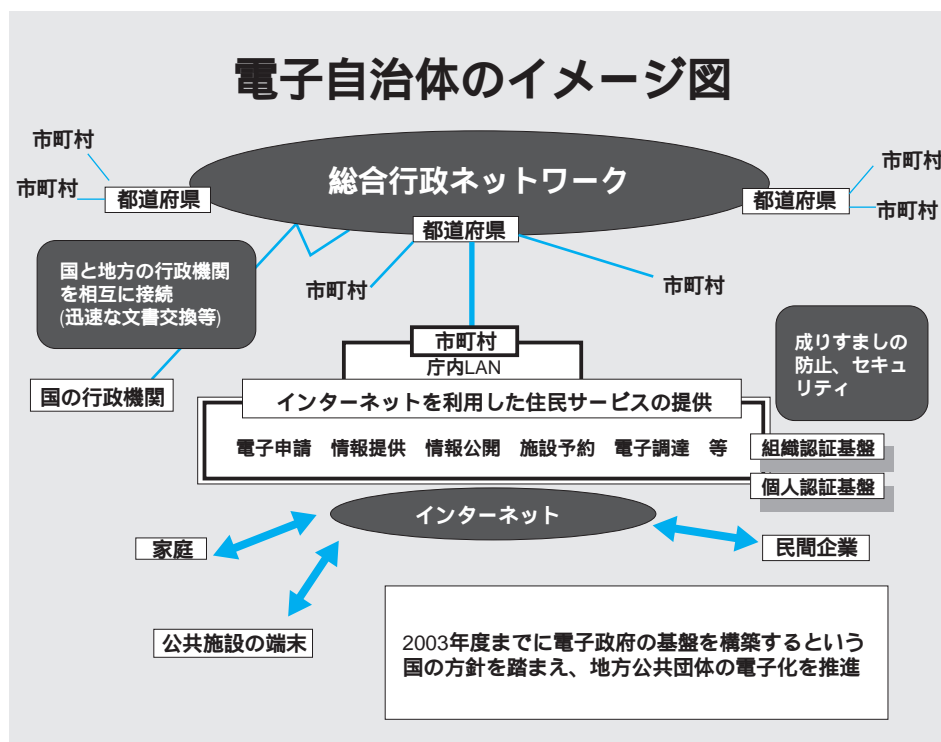
##### 1 電子自治体の構築

コンピュータや通信技術の急速な発展による IT 革命に対応し、国では平成12年7月に「情報通信技術 (IT) 戦略本部」を設置し、平成13年1月には「高度通信ネットワーク社会形成基本法 (IT 基本法)」を施行するとともに、平成13年3月には、電子政府の実現などの重点施策を取りまとめた e-Japan 重点計画を策定し、IT 化に積極的に取り組んでいます。国では、この中で電子政府の実現に向け、地方公共団体に対し電子自治体の構築を要請しています。

このような国の方針に対応し、IT を活用して、県民の利便性向上、行政の簡素効率化・透明性の向上に資するため、平成15年度までに電子県庁の基盤を構築することを目指しております。

現在、総合行政ネットワークの整備や文書の認証基盤、電子申請・届出、住民基本台帳の各システムの構築などに取り組んでいるところです。

また、市町村における電子自治体の構築の取り組みを支援するため、県と市町村の意見交換を行う場として、IT 化推進県・市町村連絡会議の設置や、電子自治体に関する各事業情報の提供・交換、質疑応答、学習ページ等のサービスを提供する e-Yamanashi 64ネットの運用を本年5月に開始したところです。



## 2 電子自治体への取組み

### (1) 電子自治体の主なサービス

#### ① 電子申請・届出

税の申告、転出転入、公共施設の予約などの各種の申請や届出がインターネットを利用して、24時間、どこからでもできるようになります。

#### ② 意見反映等

情報収集、情報検索、行政への意見反映が、24時間どこからでもできるようになります。

### (2) 電子自治体の基盤

インターネットの世界ではなりすまし等の危険があるため、申請者の本人確認、自治体が発信した文書であることの証明、安全な通信などを確保するため、次のような基盤の整備を行う必要があります。

#### ① 組織認証基盤

自治体が発信したことを証明する仕組み（公印にかわるもの）

- ・ 都道府県・政令市 平成13年度中に整備予定
- ・ その他の市町村 平成15年度までに整備予定

#### ② 個人認証基盤

本人確認等を行う仕組み（印鑑証明にかわるもの）

- ・ 平成15年度までに運用を開始する予定

#### ③ 総合行政ネットワーク

- ・ 都道府県・政令市 平成13年度中に一部サービスを開始予定
- ・ その他の市町村 平成15年度までに接続予定

#### ④ その他のシステム

- ・ 申請・届出汎用受付システム
- ・ 文書管理システム
- ・ 住民基本台帳ネットワークシステム 等

#### ⑤ 機器整備

パソコン、庁内 LAN

### (3) その他

このような中で、情報通信技術を活用できる基礎技能の早期普及を図るため、市町村と協力して IT 講習会を開催しているところです。

## 3 市町村支援 ～ e-Yamanashi 64ネットの運用

このような取り組みを進める中で、市町村の電子化の推進に向けた取り組みを支援するため、

- ・ 電子化に向けた市町村職員のスキルアップ
- ・ 県、市町村間における施策動向等の迅速な情報共有
- ・ 県、市町村間及び市町村相互の緊密な情報交換 等

を目的とした e-Yamanashi 64ネットの運用を平成13年5月に開始したところです。

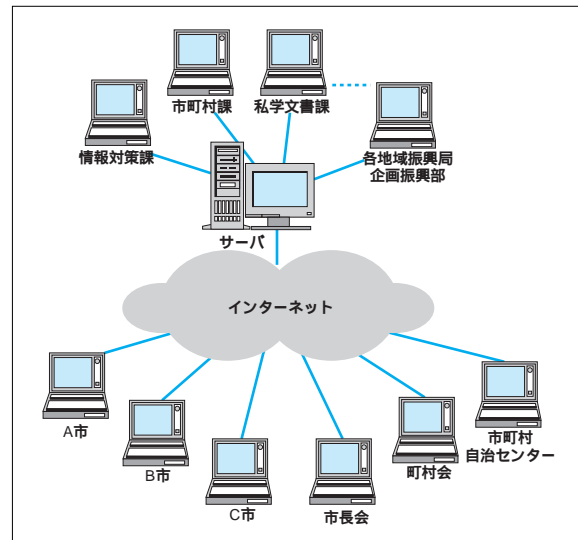
このネットは、県庁のサーバに市町村の専用端末や LAN からインターネットを経由してアクセスするシステムで、

- ・ 電子自治体に関する各種事業情報
- ・ IT 講習会の日程調整
- ・ 掲示板
- ・ 学習ページ
- ・ メーリングリスト

などのサービスを提供しています。以下でそのサービス概要を説明します。

(1) 電子自治体に係る各事業情報  
 「総合行政ネットワーク」「住民基本台帳ネットワークシステム」「届出申請」等、電子自治体推進に向けた各事業に関する情報提供、掲示板やQ&Aによる意見交換を行います。

(2) IT講習会日程・実施施設管理  
 県内のIT講習会の実施予定を管理し、山梨県のホームページと連携させ、日程検索を行うことができます。また、実施状況を集計し、今後の講習実施の参考資料としています。



イメージ図

(3) 行事カレンダー  
 IT化推進県・市町村連絡会議等の県・市町村の日程や、市町村等が行うイベントを管理し、その中の一部は県のホームページから公開します。

(4) 学習用コンテンツ  
 電子自治体を構築するにあたり、ネットワークやセキュリティに関する基礎知識を、職員が習得するのに用います。

(5) メーリングリスト  
 電子自治体推進に携わる県及び市町村職員のメーリングリストです。

(6) 画面例

## フロントページ



## 各事業情報のページ



「e-Yamanashi 64ネット」の一部情報は、<http://www.4.pref.yamanashi.jp/>から閲覧できます。

### (7) e-Yamanashi 64ネット Q&A

e-Yamanashi 64ネット上では、活発な意見・情報交換が行われています。

ここでは、これまでに交わされた主な質問とそれに対する回答を掲載します。

**Q 1 :** 「LGWAN(総合行政ネットワーク)」と「e-Yamanashi 64ネット」は、どのように関係しているのですか？

**A 1 :** 「LGWAN(総合行政ネットワーク)」は、地方公共団体間を相互に接続するネットワークです。それに対して「e-Yamanashi 64ネット」は、「LGWAN」整備に向けた取り組みを円滑に行うことをひとつの目的とした、山梨県内の市町村をインターネットで接続したネットワークです。「e-Yamanashi 64ネット」はインターネットを用いているためセキュリティレベルは低ですが、「LGWAN」は専用線を用い、セキュリティを確立したネットワークとなります。

**Q 2 :** e-Yamanashi 64ネットの利用対象は？

**A 2 :** 県では、電子自治体構築に携わる所属として、まず「市町村課・私学文書課・情報政策課・各地域振興局企画振興部」により運用開始しました。市町村における利用対象は、各市町村の責任者が中心となり決定していただきます。インターネットを利用できる環境にあればユーザIDとパスワードを入力することで、使用可能なので、責任者が定める利用者に、ユーザID等を公開していただきたいと思います。今後、市町村等からの要望を受けて県の利用対象範囲を拡大する方針です。

## ②「ITと電子自治体」をテーマに

### 平成13年度 情報通信月間講演会を開催

平成13年5月28日 午後2時～ ベルクラシック甲府

本協議会が毎年5・6月の情報通信月間（次ページ参照）に開催している「情報通信月間講演会」が今年も開催されました。

本年は、「ITと電子自治体」をテーマに、中央大学総合政策学部の大橋正和教授を講師にお迎えし、甲府市北口のベルクラシック甲府を会場に開催されました。

2003年度までに電子政府の基盤を構築するという国のe-Japan重点計画においては、行政情報の提供、申請・届出等の手続きの電子化、業務改革を重点的に推進していくという目標が掲げられており、加えてIT基本法に沿った具体的な取り組みが求められている中で、200名以上の会員、関係者の参加をいただき、電子自治体の実現に向けての会員の皆様の関心の高さがうかがえました。

講演では大橋先生からまず、情報革命の理念と必要性についてお話があり、デジタル社会とアナログ社会との違いについて説明がありました。さらに、米国では世の中に存在する「財」として、ファイナンシャル・キャピタル、ヒューマン・キャピタルに加えてソーシャル・キャピタルが第3の財として重要視され、個人と個人、個人と組織、組織と組織の関係性はコミュニティとも広く結びついており、これを踏まえた上で電子自治体の基本的な思想として、今までの紙の流れの手続きを単に電子化するのではなく、産業革命以降失われてきたコミュニティの復権とユーザが望んでいるオブジェクトの実現という考え方に沿って、仕組みそのものを再構築（リエンジニアリング）する必要性が述べられました。

そして、大橋先生が携わってこられた電子自治体の事例として、オブジェクト指向に基づいた武蔵野市と横浜市の事例が示されました。

また、日本の教育システムについても、アナログには優れているがそれをトランスファーする部分に欠けていること、デジタル化の基本である、構造的なものの仕組みを示すことができる能力を身につける教育の必要性が述べられました。

米国では、インターネット・e-mailのトラフィックの75%がiDC（インターネットデータセンター）を經由して発信されていますが、ITの変革のスピードがビジネスモデルの変革のスピードを上回る中、政府・自治体・レガシーカンパニーも、.com企業やベンチャー企業と競って優秀な人材を確保することが難しくなっており、IT部門は経営の本体から切り離してアウトソースすることが常識となり、優れたeコマースのビジネスモデルが豊富に存在するiDCに、大多数のサーバや企業の提供するサ

ービスが置かれていること、またiDCが1カ所置かれることによって、その周辺のインターネット関連産業の売上高には20倍の影響力があり、地域振興の有力な手段の一つであることが述べられました。

日本では、各県に1カ所ずつ公共iDCを整備し、県部局・市町村とはアメリカより潤沢であるダークファイバーを活用し情報資源の活用とシステム・データの安全管理を行う計画が現在進められていることが述べられました。



講演いただく大橋先生



熱心に講演に耳を傾ける参加者

最後に山梨県においては、今までの情報化施策を継承し、コミュニティの活性化とデジタル化をうまくオーバーラップさせ、シリコンバレーモデルのような高度な情報化社会を実現させて欲しいとの言葉をいただきました。

以上のように、先生からは県内ではなかなか聴くことのできない最先端の内容で講義をいただき、大変反響も大きく、各会員の今後の業務の参考とすることができました。

また、講演に先立ち、県情報政策課の担当者から、「山梨県総合行政ネットワークの構築に向けて」及び「電子調達の実証実験」について説明があり、県の情報化施策について説明を聞くことができました。



県の施策についての説明

本協議会では今後もこのような最先端で、わかりやすい内容で講演会を開催していきます。会員のみなさまのより積極的なご参加をお願いいたします。

## 情報通信月間とは？

情報通信月間は、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、電気通信市場の自由化が行われた昭和60年（1985年）に設けられ、今年で17回目を迎えます。

毎年5月15日から6月15日を期間として、この期間中、全国各地で情報通信に関する様々な行事が行われ、豊かで幸せに安心して暮らせる社会を築いていく上で大きな役割を果たす情報通信について広く理解と協力を求めています。

21世紀という新しい時代に、我が国が豊かな国民生活と更なる発展を実現するためには、すべての人がインターネットなどのITを積極的に活用し、その恩恵を最大限に享受できるIT社会の実現こそが鍵となります。このようなIT社会を実現していくためには、民間と行政が一体となって積極的に取り組む必要があります。

本年度の情報通信月間では、「夢へつながる 未来へつながる ITでひらく新世紀」をテーマに、総務省と情報通信月間推進協議会（関係77団体により構成）地方公共団体などが一体となって、全国各地で各種セミナー、シンポジウム等、多彩な情報通信月間参加行事を開催しました。

本協議会も、情報化の施策や全国で行われている情報化への取り組み、情報技術利用の現場を紹介するなどの普及啓発活動が不可欠であるとの観点から、毎年この時期に「情報通信月間講演会」を開催しております。

会員の皆様におかれましても、この情報通信月間に合わせ各種普及啓発行事を開催するなど御協力をお願いいたします。

## トピックス

# 「全国マルチメディア祭2001 in やまなし」 が開催されます

開催期間 平成13年11月8日(木)~11日(日)

地域情報化サミット 11月8日(木) 甲府市アイメッセ山梨 展示場 C

地域情報化フォーラム 11月9日(金)~11日(日) 県内8ヶ所の市町村会場

地域情報化フェア・2001山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ

11月8日(木)~10日(土) 甲府市アイメッセ山梨展示場 A・B

シンボルマーク



開催テーマ

**時空を超えた交流**  
ぬくもりある生活空間の創造

主催

全国マルチメディア祭2001 in やまなし実行委員会

### 地域情報化サミット

11月8日(木)

13:00~17:00

甲府市アイメッセ山梨

#### オープニングセレモニー

CGによる山梨県の紹介、マルチメディア祭の詩の合唱、主催者挨拶、ロゴ・シンボルマーク入選者の表彰など

#### 基調講演

テーマ「広がる マルチメディアの楽しさ」

講師 永松 利文 立命館アジア太平洋大学助教授

#### サミット特別中継

「アジアを核とした今後のIT戦略」をテーマに、サミット会場とタイ国とを通信衛星で結んで対談を行います。

また、(財)山梨総合研究所の協力を得て、解説を行います。

#### パネルディスカッション

テーマ「ITネットワークと環境との共生」

コーディネーター 清原 慶子 (東京工科大学メディア学部教授)

パネリスト 荒川じんぺい (装幀家、エッセイスト)

岡本 薫 (文化庁官房著作権課長)

竹中 ナミ (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長)

山根 悟 (総務省情報通信政策局地域通信振興課長)



## 関連プロジェクトの紹介

県やNPOなどの最先端のプロジェクトを紹介します。

山梨コミュニケーションズネットワーク構想 中央コリドー高速通信実験プロジェクト  
デジタルアーカイブ～デジタルリウムの創造 ほか

## 地域情報化フォーラム

11月9日(金)～11日(日)

県内8ヶ所の市町村会場

地域連携・広域連携を基本的な視点として、情報通信を活用した産業、教育・生涯学習、文化などの地域課題に取り組むITまちづくりの、地域の特色を生かしたフォーラムを、23の市町村が協力して開催します。

フォーラム名	テーマ	会場	9日(金)	10日(土)	11日(日)
こうふ e-life シアター	未来の暮らし	アイメッセ山梨展示場 C			
東八広域フォーラム	電子自治体と地域情報化	石和町スコレーセンター			
八田村フォーラム	地域情報化による自治体の役割	八田村高度農業情報センター			
マルチメディアフォーラム@都留	未来・期待・IT社会	都留市文化会館			
大月フォーラム	ITで開く新時代 ハーモニックタウン大月	大月市民会館・大月市立図書館			
峡西広域連携フォーラム	ITまちづくり マルチメディア社会の未来	白根桃源文化会館			
八ヶ岳・甲斐駒フォーラム	ITの明日	小淵沢町福祉活動センター			
しもべ情報化フォーラム	ITで教育が変わる・地域が変わる	下部町中央公民館			

## 地域情報化フェア・2001山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ

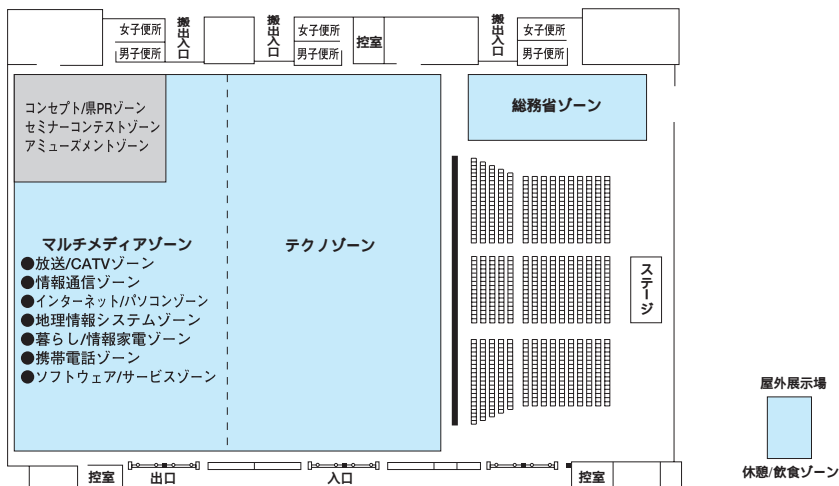
11月8日(木)～10日(土) 10:00～18:00(10日は16:00まで) アイメッセ山梨展示場 A・B

併催『ロボコンやまなし2001』 11月10日(土) アイメッセ山梨展示場 C

### テーマ「21世紀の技術と情報のコミュニケーション」

これまで開催してきた「山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ」の成果を踏まえ、情報とモノづくりのテクノロジーの一体化を図りながら、関係企業・団体による最新機器・システムの展示はもとより、本県が取り組んできたモデル事業や研究開発・実証実験の成果発表、総務省、県PRなどの各種ゾーンを設けます。

- |               |  |
|---------------|--|
| 総務省ゾーン        | リアル Web アニメ、防災行政無線、デジタル放送、ラジコン模型展示等最大級の展示  |
| コンセプト・県PRゾーン  | 総合案内、先進プロジェクトの紹介、大学・NPO・ボランティアの先進的取り組みの紹介  |
| 企業・団体出展ゾーン    | 放送・CATV、携帯電話、GISなどテーマごとにゾーンを設定、全220コマ      |
| セミナー・コンテストゾーン | 情報活用方策の普及、機器の紹介等                           |
| アミューズメントゾーン   | パソコン体験コーナー、ゲーム、観光・物産販売、各種ロボットのデモンストレーションなど |



アイメッセ展示場平面図

# 平成13年度総会が 開催されました

本協議会の平成13年度総会が、さる4月23日（月）午後1時30分よりシティプラザ紫玉苑で120名余りの会員・関係者の参加の下、盛大に開催されました。

はじめに小林会長から、昨年の活動を振り返って「講演会やマルチメディアエキスポの開催、調査研究活動、市町村会員を対象とした情報化研修会の開催、県外自治体の先進的な取り組みの視察など、充実した活動を展開することができた」とする一方で、本年度も引き続き「県民がIT革命の波に翻弄されることなく、主体的に情報化に参画し、あらゆる分野にわたり発展することができるよう、情報化への理解を深める取り組みに一層努めて参りたい」との挨拶がありました。

総会では、本年が改選の年度となる役員体制について承認をいただき、本年度の事業計画として昨年に引き続き、講演会などの普及啓発活動、パソコンボランティア団体への支援活動、先進地視察などの活動を行うことが了承されました。

また、本年11月に開催される「全国マルチメディア祭2001 in やまなし」には、その実行委員会の構成団体として積極的に支援するとともに、本県における地域情報化へのさまざまな取り組みについて紹介し、理解を深めていただく機会とすることが確認されました。

総会に引き続いて行われた講演では、総務省関東総合通信局情報通信部長の田中啓之氏より「平成13年度総務省における情報通信施策について」と題してe-Japan 重点計画をはじめ、総務省の予算、各種事業の概要について御説明をいただきました。

また、先導的な地域情報化への取り組みの事例発表として、都留市政策形成課の紫村聡仁氏より、都留市における地域情報化への取り組みについて発表していただきました。

講演終了後には、多くの会員の皆様の出席の下、情報交流会が開催され、情報交換が活発に行われました。



総会で挨拶する小林会長



事例発表する都留市・紫村副主査

## 市町村部会 パソコン・情報通信研修会が開催されました

本協議会の市町村部会では、下記の日程で、竜王町のサンテクノカレッジを会場に、「プレゼンテーション基礎講座」と、「情報通信ネットワークの基礎講座」を開催しました。

「プレゼンテーション基礎講座」 平成13年7月24日、27日(2日間)

「情報通信ネットワークの基礎講座」 平成13年7月31日 (1日間)

「プレゼンテーション基礎講座」では、30名の参加者を得て、住民に対しての説明や会議の席上などにおいて、ますます必要性が増しているパソコンを用いたプレゼンテーションの技法について基礎から学び、さまざまなアイデアや図表を整理してわかりやすく提示する技術を全員が取得することができました。

2日目の講習では各自がそれぞれの業務に関する資料やデータを持ち寄り、様々な効果を用いてヴィジュアルにうったえるプレゼンテーションのスライドを作成しました。これらは今後の業務で生かされていくものと思われます。

続いて31日に開催された、情報通信基盤の整備を行い、自治体内外のネットワークの整備や公共サービスの電子化の推進を行っていくうえで必要となってくる、ネットワーク技術の基礎について初心者向けに講義形式でやさしく解説する「情報通信ネットワークの基礎講座」には、53名の参加をいただきました。

今回の講義はネットワークの初心者向けに開催され、LANとWAN、プロトコルOSI 7階層、クライアント・サーバモデル、ルータ・リピータなどの中継機器、インターネットの仕組み、暗号化・ファイアウォールなどのセキュリティまで、かなり専門的なところまで踏み込んだ内容でしたが、たいへんわかりやすい講義で、情報通信ネットワークの基礎を学ぶことができ、今後の地域情報基盤・公共サービスの整備に携わる方にとって、非常に役に立つものでありました。



プレゼンテーション基礎講座



情報通信ネットワーク基礎講座

また、研修会終了後にはアンケートを取り、研修会のレベルや、日程、今後開催して欲しい研修の内容等について下記のような回答をいただきました。これらは今後の研修会開催の参考とさせていただきます。

内容のレベルについて 事前に通知で「基礎講座」と御連絡したため、2つの研修会とも「ちょうど良い」との回答が大多数でした

研修会の日程(7月末)について この時期で良いとの回答が大多数でした(他5月、9月が良いとの回答有)

他に開催して欲しい研修について(回答が多かったものから、複数回答)

- ・ Access 研修(8)
- ・ LAN環境の構築とサーバ管理の方法(8)
- ・ WORD、EXCELの応用(3)
- ・ ホームページ作成(3)
- ・ ネットワーク中級編(3)
- ・ セキュリティ研修(3)
- ・ LGWANについて(3)
- ・ 住民基本台帳ネット研修(2)
- ・ Linux研修(2)
- ・ 電子自治体、情報公開について(2)
- ・ UNIX研修(1)
- ・ ノーツ等について(1)
- ・ Windowsの上級者研修(1)
- ・ その他(より体系的・実務的なものを、情報担当者の抱えている課題の解決方法について)